

県南広域振興局長

提出者 アイシン東北株式会社

住所 〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地

氏名 代表取締役社長 坂本 由夫

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	アイシン東北株式会社	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	1,673 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	8 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者			

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
アイシン東北 本社	岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根森山6番地	1,673 kℓ
		kℓ
		kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する。
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別添）一覧を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1（工場又は事業者用）

1 温室効果ガスの排出状況

(1)エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		(2023) 年度						E B D	二酸化炭素換算 係数 (t-CO2)	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO2)	前年度比二酸化炭素換算 係数 (t-CO2)		
		エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量								
		数値 A	単位 B	熱量(GJ) C	数値 D	単位 E	熱量(GJ) F						
化石燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL			kL							
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL							
	揮発油(ガソリン)		kL			kL							
	ナフサ		kL			kL							
	ジェット燃料		kL			kL							
	灯油	5.40	kL	197		kL		197	14		14		
	軽油	0.60	kL	23		kL		23	2		2		
	A重油	10.30	kL	401		kL		401	28		28		
	B・C重油		kL			kL							
	石油アスファルト		t			t							
	石油コークス		t			t							
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)	67.30	t	3,372		t	3,372	202		202		
		石油系炭化水素ガス		t		t							
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t		t							
		その他可燃性天然ガス		t		t							
	石炭	輸入原料炭		t		t							
		原料炭		t		t							
		コークス用原料炭		t		t							
		吹送用原料炭		t		t							
		輸入一般炭		t		t							
		国産一般炭		t		t							
		輸入無煙炭		t		t							
	石炭コークス		t		t								
	コークスガス		t		t								
	コークス炉ガス		t		t								
	高炉ガス		t		t								
	発電用高炉ガス		t		t								
	転炉ガス		t		t								
	その他の燃料	都市ガス		t		t							
()													
非化石燃料	黒液		t		t								
	木材		t		t								
	木質廃材		t		t								
	バイオエタノール		kL		kL								
	バイオディーゼル		kL		kL								
	バイオガス		t		t								
	その他バイオマス		t		t								
	RDF		t		GJ/t								
	RPF		t		GJ/t								
	廃タイヤ		t		GJ/t								
	廃プラスチック(一般廃棄物)		t		GJ/t								
	廃プラスチック(産業廃棄物)		t		GJ/t								
	廃油		kL		GJ/kL								
	廃棄物ガス		t		t								
	混合廃材		t		t								
	水素		t		t								
	アンモニア		t		t								
	その他燃料()												
	小 計 ①								3,992	245		245	
	熱	産業用蒸気		GJ		GJ							
		産業用以外の蒸気		GJ		GJ							
		温水		GJ		GJ							
		冷水		GJ		GJ							
		地熱		GJ		GJ							
		温泉熱		GJ		GJ							
		太陽熱		GJ		GJ							
		雪氷熱		GJ		GJ							
		小 計 ②											
		電気	電気事業者①	6,830.00	kWh	59,011		kWh		59,011	3,258		3,258
電気事業者②(注復核されている場合使用)			kWh			kWh							
自己託送(非燃料由来を除く)			kWh			kWh							
自家発電	太陽光		513.99	kWh	1,850		kWh	1,850					
	水力			kWh		kWh							
	風力			kWh		kWh							
	その他			kWh		kWh							
小 計 ③								60,862	3,258		3,258		
合 計 ①+②+③								61,854	3,503		3,503		

(2)原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	1.673	kL
--------------	-------	----

(3)温室効果ガスの総排出量

内 容		温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	3,503 t-CO ₂
	上記以外の二酸化炭素	t-CO ₂
メタンの排出量		t-CO ₂
酸化二窒素の排出量		t-CO ₂
ハフロン(フルオロカーボン)の排出量		t-CO ₂
ペルフルオロカーボンの排出量		t-CO ₂
六フッ化硫黄の排出量		t-CO ₂
三フッ化窒素の排出量		t-CO ₂
合 計		t-CO ₂

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和51年通商産業省令第71号)第4条の方法により換算してください。
2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第13号)の第33条の規定により算定してください。
3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに県内に設置されているエネルギー使用量の合算を記載してください。

別紙 その2

1 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

- ・アイシンググループ合算でCO2総排出量を2025年度25%削減(2013年度比)するために、グループ本社から割り付けられた総排出量目標値に基づき評価を行っている。
- ・'22年度CO2排出量実績3,617t-CO2に対して、'23年度目標を3,465t-CO2として定めたが実績は3,633t-CO2で0.4%増加し未達となった。
(CO2換算係数はアイシンググループで独自に定めた値を使用)
- ・酷暑による空調エネルギー、工程立ち上げによる生産動力エネルギーの使用量増加が要因と推定している。
- ・省エネ・再エネ拡大による削減、CO2排出量の多い工程の生産減により売上金額当たりCO2排出量は対前年比16.4%低減した。

【具体的な取組状況】

○省エネルギー活動

- ・生産中でない設備の電源を切り、待機中の消費電力を削減した。
- ・空調の設定温度を夏季・冬季でルール化することで過剰なエネルギー消費を抑制した。
- ・コンプレッサ集中制御装置を導入し、コンプレッサ稼働の最適化を図った。

○再生可能エネルギー拡大

- ・'23年5月より太陽光発電装置を稼働開始し、約514千KWh/年を発電した。
- ・'23年4月より東北電力の再エネ(水力)由来電力メニューを契約し、約342千KWh/年を購入した。

○自動車利用抑制

- ・アイドリングストップの活用、急発進、急加速をやめるなど意識啓発しエコドライブを行った。
- ・出張時人数に応じ、最適なサイズの車両使用や相乗りを行い燃費向上に努めた。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

2 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・制御盤冷却クーラーをノンフロン型へ更新しCO2以外の温室効果ガスを削減した。
- ・省エネルギー教育、環境月間活動で全従業員に啓発・周知を行った。
- ・ホットランナー化やパージ回数見直しなどプラスチック材のムダ・ロス削減活動を実施した。